



# 第36回会合における構成員からのご質問 (追加質問回答等)

---

2022年6月9日  
事務局

## 森構成員

- 質問先：Meta社
- 質問内容：第36回会合資料6の38頁に記載の通り、事後質問を以下の通り行ったが、Meta社からは「弊社のゴールは、利用者にとって最も価値のあるコンテンツを確実に見ることができるようにすること」や「利用者が個人的に最も興味を持つと思われるものを、それぞれの画面上の一番上に表示するようにしています」といった考え方しか示されておらず、実質的な回答になっていないと考える。  
以下にあるように、アルゴリズムを変更したか否か、その変更内容、日本語が占める予算の割合等について明確に回答してください。
  - 2021年10月の内部告発によって、貴社サービスの投稿の表示順位を決めるアルゴリズムについて以下のことが判明したとの報道がありますが、事実ですか。①より多くのクリックやコメント、シェアを得られるものがアルゴリズム上重視されており、②その結果、怒りや分断を招くものがアルゴリズム上重視されている
  - 前記内部告発を受けて、表示順位を決めるアルゴリズムを変更しましたか。変更した場合にはどのように変更したか教えてください。
  - 前記の内部告発によって、言語別のヘイトスピーチ対応のための費用の割合は、英語（米国）が38%と最も多く、英語以外の言語への対応は極端に少ないこと、および偽情報対策の予算は、米国が87%を占めていること、が報道されています。言語別の①ヘイトスピーチ対応、②誤情報対応、③誹謗中傷いじめ等対応において、日本語が占める予算の割合を①～③のそれぞれについて教えてください。
  - インスタグラムの若者に対する悪影響について、「日本を含む6カ国の約2万人を対象にした調査」が貴社によって2019年ごろに行われたと報道されています。①この報道は事実ですか。②事実である場合、日本における調査結果と調査結果を受けた貴社の対応について教えてください。

## Meta

- 弊社はいただいた質問に対しては既にご回答していますが、この問題に対する弊社の立場をプラットフォームサービス研究会により良く理解していただくために、以下のとおり、追加的な背景を共有いたします。
- 問題となっている文書の多くは、弊社のプラットフォーム上での利用者の体験をどのようにすれば最もよく改善できるかを探るために行っている社内用の研究に関するものです。そして、この研究結果の多くは、文脈を無視した、誤解を産む描写がなされており、またこの研究結果を受けて弊社が外部の専門家との協力を通じて成し遂げた変化や進歩については説明がなされていません。今日までに、弊社はプラットフォームで利用者にポジティブな体験を提供することができるよう、利用者の安全を守るためのチームとテクノロジーに130億ドル以上を投資し、安全・セキュリティに取り組む人員を4倍の4万人に増強し、第一線の専門家と提携してきました。
- 弊社のランキングに対する考え方については、透明性センター（下記参照）の中にウェブサイトを設定して説明しています。特に、「ニュースフィードのアルゴリズムの仕組み」や「下位に表示されるコンテンツタイプ」について説明するセクションが設けられています。また、利用者は、フィード中のランキングをアプリから管理することができ、その方法について、ヘルプセンター（下記参照）にて情報提供しています。さらに、透明性センターでもこの機能について説明しています。  
<https://transparency.fb.com/ja-jp/features/ranking-and-content/>  
[https://www.facebook.com/help/1634545223376778?helpref=faq\\_content](https://www.facebook.com/help/1634545223376778?helpref=faq_content)
- なお、下記サイトもご参照いただくと幸いです。  
<https://about.instagram.com/ja-jp/blog/announcements/shedding-more-light-on-how-instagram-works>  
<https://about.instagram.com/ja-jp/blog/announcements/how-we-address-harmful-content-on-feed>  
<https://about.instagram.com/ja-jp/blog/announcements/favorites-and-following>
- 上記の取組は、利用者からのフィードバック、専門家からの助言、そして社内のリサーチを反映したものであります。必要に応じて、今後ともこうした外部の方からの協力を継続していきます。
- アルゴリズムの詳細や社内の予算配分については、機密情報であるため、開示することはできません。